Word ワンポイント講座

テキストボックスの便利ワザを使ってみよう

Word のテキストボックスは、本文から独立した文字枠、文字列をブロック単位 で自由に配置できるので、囲み記事の作成、写真のキャプション表示、タイトル 文字の装飾など、文書内での出番は多い。

そこでテキストボックスを効率よく操作する方法、表現力を高めるテクニック など、覚えておくと便利なワザを紹介する。

例えば、テキストボックスはドラックで描くと思われがちだが、実はクリックで も作成できる。文字枠の図形を四角以外に変更したり、図形だけを回転したりし て、デザインに凝るのも面白い。



テキストボックスの便利ワザ

図1)Wordのテキストボックスや図形はドラッグで描くのが基本だが、実はクリックでも作成できる。テキストボックスの場合は、小さな文字枠が作成され。入力した文字列の長さやスタイルによって幅が自動的に変化する。タイトルなどの短い文字列を入力**する**ときに便利です。

図 2) テキストボックスの図形も四角形とは限らない。後から別の図形に変更することもできる。この例では『「矢印:山形」に変更して』タイトルを勢いのあるデザインにした。

図 3) テキストボックスの角度を変えると文字列一緒に回転するが、図形だけを 回転して読み易くすることもできる。この例では、図形の塗りつぶしパターンの 柄を使って、よりデザイン性を高めた。

クリックで文字枠を作成する

「挿入」タブの「図形」メニューから「テキストボックス」を選び、作成位置を クリック、これで細長いテキストボックスの文字枠が作成され、内部にカーソル が表示される。(図1)



図 4) テキストボックス以外の図形を選んでクリックすると、縦横のサイズが同 じ図形(ここでは正円)が作成される。そのままキーボードから文字列を入力す ると、図形の中央に表示され、文字枠として使える。(図形に種類によっては縦横 サイズが異なるものもある)



図 5) 下記のテキストボックスを選択し、右クリックから「図形の書式設定| ➡ 文字のオプション→レイアウトとプロパティ→テキストボックスのスタイルを設 定する。

図形の書式設定 基本から学ぶ資産運用 図形のオプション A (A 「テキストに合わせて図形のサイズを調整する」をオン > デキスト ポックス にすると、文字枠のサイズが文字列に合わせて自動調整 垂直方向の配置(⊻)

される。

図 6) 「図形の書式」タブの「図形の編集」メニューを開 き、「図形の変更|サブメニューから変更後の図形(ここ では「矢印:山形」)を選ぶ、テキストボックスの四角形 が選択した図形に変わる。白いハンドルで図形の

形を調節すると、すべての文字列が表示される。



図 5

文字のオプション

上揃え

横書き

2.54 mm

2.54 mm

1.27 mm

1.27 mm

文字列の方向(X)

ର(F)

左余白(<u>L</u>)

右余白(<u>R</u>)

上余白(<u>T</u>)

下余白(<u>B</u>)

フェストを回転させない(D)

▼テナストに合わせて図形のサイズを調整す

×

v

~|

Ĵ

0

0 Ĵ

文字枠の図形だけを回転する

図7)回転ハンドルをドラッグしてテキストボックスの角度を変える。 文字効果の設定で「テキストを回転させない」をオンにすると文字列はそのまま でテキストボックス枠だけが動かせる。



文字列の表示領域を広げる

図 8)図形内に文字列が収まらないときは、「文字のオプション」画面の「レイア ウトとプロパティ」でテキストボックス内の余白を確認する。上下左右余白を 0mm にすると文字列が収まる場合がある。

基本から学 ぶ資産運用 図形のオチミシ 文字のオブション 区形のオチミシ 文字のオブション ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲			図形の書式 設定 >>>
ら学ぶ ▲本から学 ぶ資産運用 よなから学 が育た運用 A A A A A A A A A A A A A	基本か	図 8	図形のオプション 文字のオプション
基本から学 ぶ資産運用 デキスト ボックス 単直方向の配置(火) 上下中央…、、 文字列の方向(X) 構書き、、 テキストを回転させない(D) テキストを回転させない(D) テキストに合わせて図形のサイズを調整す。 る(E) のmm、 左余白(L) のmm、 上余白(T) のmm、 下余白(B) のmm、 マ 図形内でテキストを折り返す(W)	ら学ぶ		
 ● 重直方向の配置(V) 上下中央… ◆ 文字列の方向(X) 横書き ◆ ○ テキストを回転させない(D) ○ テキストに合わせて図形のサイズを調整す る(E) 左余白(L) ① mm ↓ 			✓ テキスト ポックス
文字列の方向(X) 横書き → 文字列の方向(X) 横書き → □ テキストを回転させない(D) □ テキストに合わせて図形のサイズを調整す る(E) 左余白(L) 0 mm ↓ 右余白(R) 0 mm ↓ 上余白(T) 0 mm ↓ 下余白(B) 0 mm ↓ 図形内でテキストを折り返す(W)			垂直方向の配置(⊻) 上下中央… →
基本から学 ぶ資産運用 □ テキストを回転させない(D) □ テキストを回転させない(D) □ テキストに合わせて図形のサイズを調整す る(E) 左余白(L) 0 mm ・ 右余白(R) 0 mm ・ 上余白(T) 0 mm ・ 下余白(B) 0 mm ・ マ宗白(B) 0 mm ・ マ宗白(B) 0 mm ・			文字列の方向(<u>X</u>) 横書き ・
基本から学 ぶ資産運用 こうまえトに合わせて図形のサイズを調整す る(E) 左余白(L) 日本令白(R) 日本令白(R) <			 テキストを回転させない(D)
左余白(L) 0 mm 、 右余白(R) 0 mm 、 上余白(T) 0 mm 、 下余白(B) 0 mm 、 ▼ 密形内でテキストを折り返す(型)	基本から学 ぶ資産運用		 テキストに合わせて図形のサイズを調整する(E)
右余白(<u>R</u>) 0 mm () 上余白(<u>T</u>) 0 mm () 下余白(<u>B</u>) 0 mm () ✓ 図形内でテキストを折り返す(<u>W</u>)			左余白(<u>L)</u> 0 mm 、
上余白(工) 0 mm 、 下余白(<u>B</u>) 0 mm へ ✓ 図形内でテキストを折り返す(<u>W</u>)			右余白(<u>R</u>)
下余白(<u>B</u>) 0 mm ↑ ✓ 図形内でテキストを折り返す(<u>W</u>)			上余白(<u>T</u>) 0 mm 🗘
☑ 図形内でテキストを折り返す(₩)			下余白(<u>B</u>) 0 mm ^
			✓ 図形内でテキストを折り返す(₩)

入力済みの文字列をテキストボックスに変換する

図 9) 「テキストボックスで表示する文字列」を選択し「挿入」タブ→テキストボ ックスメニュー→横書きテキストボックス描画→テキストボックスが作成される →選択した文字列がスタイルを保ったまま移動する。

入力済みの文字列をテキストボックスに変換する
 図9)テキストボックスで表示する」文字列を選択し、「挿入」タブ⇒テキストボックスメニュー⇒横書きテキストボックス描画⇒テキストボックスが作成される
 ⇒選択した文字列がスタイルを保ったまま移動する。



入力済みの文字列をテキストボックスに変換する 図 9)テキストボックスで表示する」文字列を選択し、「挿入」タブ⇒テキストボッ クスメニュー⇒横書きテキストボックス描画⇒テキストボックスが作成される⇒選 択した文字列がスタイルを保ったまま移動する。